

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

木づな(絆)の家

グループの名称

顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会

直近採択グループ番号

04-0498-0524

(グループ代表者)

代表者名

久我 洋一

代表者印

代表者所属先

株式会社久我

代表者所在地

大阪府大阪市西区北堀江

代表者電話番号

06-6538-1860

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社久我

事務局担当者名

木下 弘隆

印

事務局郵便番号

550-0014

事務局所在地

大阪府大阪市西区北堀江2-2-25

事務局電話番号

06-6538-1860

事務局FAX

06-6538-1808

事務局担当者E-mail

tokitiro@kuga.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	木づな(絆)の家
2. グループの名称(必須)	顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0498-0524
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	久我 洋一
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社久我
8. グループ代表者所在地(必須)	大阪府大阪市西区北堀江
9. グループ代表者電話番号(必須)	06-6538-1860
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社久我
11. グループ事務局担当者名(必須)	木下 弘隆
12. グループ事務局郵便番号(必須)	550-0014
13. グループ事務局所在地(必須)	大阪府大阪市西区北堀江2-2-25
14. グループ事務局電話番号(必須)	06-6538-1860
15. グループ事務局FAX番号(必須)	06-6538-1808
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	tokitiro@kuga.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	7	一部、国外の事業者が存在し念書の提出ができず登録を行えないため。
II. 製材・集成材製造・合板製造	9	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	9	
IV. プレカット	4	一部、手刻み加工のためグループ構成員のプレカット事業者を経由しない場合がある。
V. 設計	11	
VI. 施工	13	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	2	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	兵庫県産材	兵庫県	兵庫県産木材証明制度	1	国内
	京都府産材	京都府	京都府産木材認証制度	1	国内
	広島県産材	広島県	広島県産産地証明制度	0	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		11	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	11	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		11	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	11	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	本事業への参加し事業実施を希望する工務店に1戸を配分し、そのうえで有力な案件を持つ工務店にメンバー会で話し合ったうえ配分し、グループへの配分額を余すことの無いよう事業推進する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木づな(絆)の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0498-0524	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	京阪神地域はかつて阪神大震災を経験した。グループでは、長期優良住宅を推進する場合、許容応力度計算による耐震強度(耐震等級2)の確保を必須ルールとし地震に強い木造住宅を積極的に広めていく活動を推進します。(高度省エネタイプ物件の場合は、予算を省エネ向上部分に集中させることを最優先させるため壁量計算による耐震等級2の確保にルール緩和を可能とする。)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	京阪神地域は都市圏であるため通常近郊からの木材の集荷は多くない中で、地産地消の考え方から、使用する木材については近隣地域木材をできるだけ採用することを推進します。また、そのことによりCO2削減に貢献します。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	故郷地方産材の一部活用を積極的に提案し、木材に愛着をかかねていただける家造りをモットーとします。(但し、施主様コンセプトに沿って提案の為、採用については任意とします。)	○
④①～③の背景	◆京阪神地域は地方からの人口流入が多い。【流入人口比率ランキング 大阪2位、京都府3位、滋賀県9位、兵庫県14位(総務省統計局『社会・人口統計体系2008』調べ)◆地震が多い地域である。◆都市圏のため十分な土地面積の確保が困難。◆高層マンションが多い。◆鉄骨、プレハブ造など木造住宅の採用割合が低い。このような地域特性がある中で、世界でも有効の森林保有国である我が国の特徴である木材をふんだんに活用した木造住宅の普及を推進します。地域の供給主体と入居者が形成する地域の輪を広げ、和を深め、より木づな(絆)を回めていこうとするグループです。「木づな(絆)の家」とは、原木製造会社から流通、設計、施工が顔の見える住まいを創造するネットワークです。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達の商品化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: プレカット事業者をグループで少数社に絞り、発注がまとまることを条件にコストの低減を行う。但し、材料不足や製造キャパオーバーなどのリスク負担の問題が発生する恐れがある為、事業推進の中で最低限のメンバー追加を行う可能性があります。	○
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: メンバー会にて検討を行っている。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 生産の合理化に係る、情報収集や情報発信を中心と行うこと。グループメンバーの技術と意識の向上に配慮尽力します。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅の場合、許容応力度計算による耐震強度(耐震等級2)の確保を必須ルールとする。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: WEBカメラの設置(施主希望により設置しないケースあり。)による常時現場閲覧可能な環境を提供する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 全棟木拾い表を作成。使用する木材の見える化をはかる。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 木づなの会ホームページを活用し、情報発信や活動報告を随時行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地盤保障を推奨する。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木づな(絆)の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0498-0524	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	第三者機関である一般社団法人長期優良住宅支援センター(または、それに準じたシステムを持つ第三者機関)において、引き渡し後30年後までの維持管理計画書、住宅情報(履歴情報含む)の保管、管理を共通フォーマットにて行う。	
①	住宅履歴情報の蓄積	◎
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関である一般社団法人長期優良住宅支援センター(または、それに準じたシステムを持つ第三者機関)において、引き渡し後30年後までの維持管理計画書、住宅情報(履歴情報含む)の保管、管理を共通フォーマットにて行う。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人長期優良住宅支援センター(または、それに準じたシステムを持つ第三者機関)	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関である一般社団法人長期優良住宅支援センター(または、それに準じたシステムを持つ第三者機関)において確認が可能。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後30年間の維持保全計画書を作成し、メンテナンス時期の明確化を推進する。	○
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンバー会開催時実施。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工メンバー各社がOB施主を訪問する際メンテナンスガイドブックを基に説明指導する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会を実施する際、メンテナンスガイドブックを基に説明案内する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンス委員会を設置し下記内容を検討し、グループ内において統一化を検討する。定期点検の時期、内容、費用負担。・施主が自ら行うメンテナンス(DIYメンテナンス)のガイドラインの作成。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 10年目までは住宅瑕疵保険に加入している為、万が一施工メンバーが倒産などにより対応できない場合には、一般社団法人長期優良住宅支援センターが有する保険の知識を活用し、保険処理及びグループ内の施工メンバーによる補修工事を行う。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンバー会開催時実施。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験の構成員にメンバーがサポートし仕様、施工、設計についてアドバイスをする。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がチェックシートによりチェックする。	○
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実際の活動やメンバー会開催の際のテーマとして、業種ごとの合理化について意識をし本年度取組を推進し年度末に取組課題を掲げる。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 16 今年度の参加目標人数 8	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数 8	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より情報発信。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 木づな(絆)の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県、大阪府、奈良県、京都府、滋賀県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 顔の見える家造りネットワーク 近畿木づなの会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0498-0524	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【高度省エネ型申請についてのルール】基本的には木づなの家ルールに準ずる。以下の①を共通ルール(必ず達成)とし、②～⑤については必ず提案する。(設置については施主希望による)①HEMSの導入。②居室へのLED照明の設置。③太陽光発電の設置。④高効率給湯設備の設置。⑤浴室・台所・洗面のいずれか1つに節湯水栓を設置する。